

第8回 UEJ「大学開放研究会」のご案内

NPO 法人全日本大学開放推進機構

平成 29 年 7 月 1 日 (土)

於・龍谷大学深草キャンパス紫光館 5 階第一研修室

第一部 13:30~15:00

講演：「産学連携活動の現状と今後の動向」

講師：高田忠彦 司会：河村能夫

※講演 60 分と質疑応答 30 分

要旨：大学の役割が、知的文化の創造、承継から知的文化の活用による積極的な社会貢献へと拡大してきた。社会貢献の一つである産学連携活動が加速し始めたのは、大学が国立大学法人化され、競争原理が導入され、外部資金の獲得など、大学自身の自助努力による自立化が求められたためである。一方、1990 年初頭のバブル崩壊後、国内の長期不況が長く続き、企業の景気回復が進まない状況の中で、企業の新商品、技術の開発のために大学の知的財産を活用することに期待し始めたことも産学連携活動の更なる推進に結びついた要因である。国の種々の施策も大学の産学連携活動を促進した。産学連携活動の推進が声高に言われ初めて、かなり進展してきたが、まだまだ十分ではない。本報告では、産学連携活動の背景、狙い、国の施策、大学の対応状況、共同研究、大学発ベンチャーの設立の現状、産学連携推進人材の育成、海外の状況など、講演者のこれまでの経験を含めて述べる。

講師紹介：高田忠彦（たかだ ただひこ）

1942 年旧満州国大連旅順市生まれ。現職：高田技術コンサルタント事務所代表。1965 年広島大学工学部応用化学科卒、1969 年大阪大学工学部石油化学科研究生、1990 年工学博士(広島大学)。(2009 年 4 月 技術士(繊維部門) 第 67816 号)。1965 年帝人株式会社入社、繊維研究所第 3 研究室長、大阪本社加工技術第 2 部長、帝人コード(株)社長を経て、2002 年定年退職。2002 年広島大学大学院工学研究科教授、(併)ベンチャービジネスラボラトリー施設主任、社会連携推進機構 産学連携センター(兼)知的財産社会創造センター センター長/教授/評議員を歴任し、2006 年定年退職。2006 年社会連携推進機構 産学連携センター副センター長/知的財産部門長/客員教授、特命教授を経て、2013 年退職。

第二部 15:15~16:35

共同討議 司会：出相泰裕

テーマは参加者から募集

- ・会費 資料代等 1,000 円 < 定員 30 名 >
- ・申込先 原則として、メールで一週間前までに、① 名前、② 職業、③ 連絡先、④ 共同討議のテーマ を記載して事務局へメールで申し込みください。

事務局 shigeto.j.k@gmail.com